



# わがまち与野! 通信

与野中央公園のアリーナ計画が中止になりました。市は中止の理由を「財政の問題」と説明していますが、そもそもこの計画は、市民の思いから大きくかけ離れた無謀なものでした。

アリーナ計画はこれで一件落着です。しかし、**与野のまちづくりは、ここで終わりではありません。**

今後の与野には、①中央公園の整備、②中央区役所周辺の公共施設再編、③市民体育館の建て替え、という3つの重要なテーマがあります。

成を目指す計画で、314億円の予算を予定していました。しかし昨年6月、アリーナ同様、物価や人件費の高騰を背景に入札は不調となりました。

市は現在、計画の見直しと予算の引上げを検討し、令和8年度に再募集、完成は令和17年度になる見込みとしています。

全体としては妥当な計画だと考えますが、私は見過ごしてはならない点が2つあると思います。

### 市民の施設は、市民の声で

一つ目は、施設が本当に使いやすいものになるのか、という点です。

図書館やプール、いこい荘、児童館はいずれも市民が利用する施設です。しかし、さいたま市は、市民会館おおみやのように、利用者の声を十分に反映しないまま施設を整備し、結果として「使いにくい施設」を生んできました。

同じ失敗を繰り返さないためには、計画段階から市民が声を上げ、要求していく必要があります。

### 残る土地は「民間任せ」でよいのか

二つ目は、公共施設整備後に残る土地の活用です。現在の計画では、中央通り東側を「民間エリア」とし、民間によるにぎわいや利便性向上につながる機能を導入するとしています。

しかし、民間事業の目的は利益追求であり、公共サービスとは異なります。**公共の土地を民間に貸すことが本当に市民の利益になるのか、慎重な判断が必要です。**

私は、市民からアイデアを募り、市民が利用する施設を公共主体で整備する方向を優先すべきだと考えます。

### 行政に求められる「市民とともに作る」姿勢

本来、計画づくりは市民の声を聞くことから始めるべきです。しかし、さいたま市では、行政やコンサルが原案を作り、形式的な意見募集だけで計画が決まってしまう例が少なくありません。

一方、市民参加で時間をかけて計画を練る自治体もあります。

市民が声を上げ続けることで、行政の姿勢も変わるはず。「市民とともに作る」まちづくりへーいま与野は、その転換点に立っています。

### 中央公園はどうなるのか？

アリーナ計画は、5,000人規模の「メイン・アリーナ」、市民利用の「サブ・アリーナ(与野体育館代替)」、両者をつなぐ「結節空間」を一体的に整備するものでした。今回、メイン・アリーナが中止となり、残るのは**市民体育館の建設**です。

中央公園の鈴谷側では県の調節池工事が進んでおり、今後は北側の一角に体育館を建設し、残る敷地を公園として整備することになります。

### 問われるのは「住民の声が届くかどうか」

重要なのは、**どのような体育館・公園をつくるのか**という点です。

体育館も公園も、中央区を中心とした近隣住民が日常的に利用する施設です。本来であれば行政が地域住民の声を聞き、それを反映した計画を作るべきですが、さいたま市はこれまで、そんな丁寧なやり方はしてきていません。

行政任せでは、コストを優先するなど、使いにくい施設になりかねません。設計に入る前に、**住民の声を聞く場を設けることが不可欠**で、それは市民の側から粘り強く求めていく必要があります。

### 中央区役所周辺公共施設再編とは

築57年の中央区役所をはじめ、体育館、図書館、プール、いこい荘など、旧与野市時代に整備された施設は老朽化が進んでいます。

これらに産業文化センターや、民有地にある下落合公民館・向原児童館を加え、一体的に再整備するのが「中央区役所周辺公共施設再編事業」です。

当初は、移転した消防署跡地にまず区役所を建設し、その後建設と解体を順次進め、令和13年度の完



## 与野の未来を市民の手で

# 中山淳一 × 佐藤潤

さいたま市議会議員

ホープセンターさいたま代表



**中山** 与野中央公園のアリーナ計画、白紙撤回が決まりましたね。佐藤さんは当初から反対運動に関わってこられて、どんな気持ちですか。

**佐藤** はい。3年前、寝耳に水の計画を聞いた時から声を上げてきたので、中止はうれしいし、一つの勝利だと思うんですが、それとは別に強い「後悔」があるんです。

**中山** 後悔、ですか？

**佐藤** あの場所がまだ「原っぱ」だったうちに、「こういう公園にしよう！」というビジョンを、もっと強く発信していればよかったな、と。行政が勝手なアリーナを描く隙がないほどに、私たちの夢を語っていればよかったと思うんです。

決まってからの反対には膨大なエネルギーを消耗しました。もう、あのような消耗は繰り返したくありません。



**中山** なるほど。市民の思いを先に示せていれば、ということですね。

**佐藤** そうなんです。だから今、中央区役所周辺の再編を進めていますけれど、これにも私たちが早く声を上げる必要があると思います。行政に任せておけばい

いなんて考えちゃだめなんです。

アリーナでは、コンサル会社への支払だけでも数千万円、調査費もたくさんかかっているでしょうし、職員の膨大な労力なども含めれば何億円という税金が無駄になっているはずなんです。

白紙撤回はよかったです。最初から市民の声を聞いていれば、そのお金は別のことに使えたはずなんです。

**中山** 1円の重みを知る経営者ならではの視点ですね。でも、行政は市民の声を聞こうとしないんですよ。

**佐藤** そこが問題です。何とかしないと。

**中山** ところで佐藤さんのご親戚は、給食のパンを作る工場だったそうですね。

**佐藤** はい。母方の祖父や叔父が上落合でパン工場をやっていたんです。

当時与野の子どもはみんな、給食でうちが焼いたパンを食べていたはずなんです。上落合の盆踊りの抽選券付きのアンパンも、昔はうちが焼いていました。3日間で7,000個ですよ。

子どもたちや街の人に食べてもらうために、叔父たちががんばっている姿は、よく覚えています。人のために尽くず温かさがあったと思うんです。

その「昭和の与野の温かさ」みたいなものを、今の時代に合った形で残せたらいいと思うんです。

**中山** その思いが、昨年立ち上げた「ホープセンターさいたま」につながるわけですね。私もここで何回か、市政報告会を

やらさせていただきました。

**佐藤** はい。中山さんが参加者の方に語りかけ、参加者の方もいろいろ発言したり、「膝を突き合わせて語り合う」という感じが、とてもいいと思います。

人々が繋がりが合える「血の通った居場所」がないと感じていたので、ここがそういう役目を果たせたらと思っています。

まだ準備中ですが、フリースクールなども考えていて、ここを、いろいろな人が主役になれる場所にしていきます。



**中山** 必要と思う場を、自ら作ってしまう行動力はすごいんです。行政にも、そういう「エネルギーから生まれる発想」がほしいですね。

佐藤さんは公共政策も学ばれています。さいたま市のいわゆるハコモノ行政をどう見えていますか。

**佐藤** コスト感覚が欠けていると思うんです。アリーナで言えば、中央公園は中止したけれど、今も別の適地を探して作ると言っています。しかし、市民が使わなくてもいい巨大施設に100億円以上もかけるより、子どもたちが毎日遊べる公園とか、市民の日常生活を豊かにすることにお金を使うべきです。

(中面に続く)

**中山** 必要なものにお金をかけるべきということですね。でも、市の幹部と市民で、必要なものが違うんですよ。

**佐藤** 価値観が違うんでしょうね。

**中山** ところで佐藤さんはボクシングジムのトレーナーでもあって、昨年は高校生の息子さんもプロデビューされたそうですが、その経験も街づくりに活かそうですか？

**佐藤** 直接関係ないかも知れませんが、夢に挑む息子の姿を見ていて、「夢に挑

戦できる街」という形があるのではないかと考えました。

チャレンジする気持ちを持つか持たないか、個性もあるでしょうけど、環境の影響も大きいと思うんです。親とか家族とか、友だちとか、身近な環境の影響が一番だと思うけれど、活気のある街が活気のある子を育てるってこともあるのではないかと。

ボクシングを通じて感じるのは、健康な体が大切だということです。地域みんながスポーツを楽しんで、健康で、活気があって、街全体が前向きな雰囲気になれば、チャレンジする気持ちも生まれた

りするのではないかな、と思うんです。

そう考えると、プロの試合を客席で眺めるような「見るスポーツ」に巨額を投じるより、みんなが活躍できる「するスポーツ」の環境を整えた方が断然いいですよ。本当の「スポーツのまち」は、そういうことなんじゃないですかね。みんなが健康ならば医療費も減りますし。

**中山** なるほど、なかなか説得力がありますね。では最後に、今後の目標を教えてください。

**佐藤** 私は中山さんがよく言う、「ボト

ムアップで作り上げる」という仕組みを形にしたいと思っています。

**中山** 行政が「決める」のではなく、市民のアイデアをまとめて「形にする」役割を担ってもらおうということですよ。

**佐藤** そうです。さいたま市には、様々な分野で優れた実績や専門知識を持つ方々がたくさんいらっしゃいます。そうした「市民の知恵」を拾い上げていくと、より多くの人の役に立ったり、楽しめたり、便利だったりする街ができると思うんです。行政よりもむしろ市民が中心に

進めることができれば、いいものを生み出せるんじゃないでしょうか。

行政はよく「協働」といいますが、一歩進んでボトムアップですね、目標は。

**中山** 市民の力が、そのまま街の未来を作る力になるわけですね。

**佐藤** その通りです。

「自分たちが作り上げた街」だと実感できれば、街への愛着に繋がります。昔から続く与野の良さを守りながら、みんなの知恵を結集して街が良くなれば、これからの子どもたちも胸を張れる街になる

はずです。与野の未来を、市民の手で作っていきたいですね。



さとう じゅん  
**佐藤 潤**

与野生まれ、与野東中、大宮高校、明治大学大学院修了 / ホープセンターさいたま代表、不動産会社経営。希望ジム会長、プロボクシングジムトレーナー / 妻と子ども6人の8人家族 / 下落合にフリースクールや自立学習教室、自習室、ホープトレーニングセンターを開業準備中

## 市民・当事者を蔑ろにする身勝手な施策

### 高齢者福祉施設、公設学童保育などを次々と廃止

- 180人以上のお年寄りの居場所・生活の場「グリーンヒルうらわ」を突然廃止
- 事前の相談なし！利用者のみならず、多数の介護職員も失職や転職へ
- 公設学童を続々廃止、支援員さんも続々失職！貴重な人材に非情な仕打ち

### 沼影プールにとどまらない市営プールの廃止計画

- 沼影プール利用者年間20万人の声は届かず 次は原山、下落合、三橋！

## 開発に採算度外視の大盤振る舞い

### 地下鉄7号線延伸計画

- 建設費1,300億円超！速達性向上は限定的 料金はJRの1.6倍
- 非現実的！中間駅付近に人口密度8,000人/km<sup>2</sup>以上、1万人の街づくり？

### 新都心に700億円超！贅沢三昧の新市庁舎

- 最上階17階に周囲が一望「できない」展望室 誰が行くの？
- 屋上の災害時物資輸送用ヘリポートはエレベーターが止まったら無意味
- にぎわいを呼び込む民間施設？コクーン横で何が出来る？

## 市民の生活は後回し

### 物価高騰支援は、本当に苦しむ人には届かず

- 国の「物価高騰対策予算」なのに、恩恵は数%の「市民アプリ」利用者だけに！

### 必要なのは子どもたちが遊べる公園

- 中央区の公園面積一人当たり1.75㎡は目標の3分の1 子どもは路上で遊ばない？

これでいいのか  
さいたま市

税金は、市民のお金。誰かのものじゃない。

## 学ぶならさいたま市？日本一の教育都市？

### 不安しかない！武蔵浦和「超過大」義務教育学校

- 過大規模校を解消するために「超過大規模校」を作るという意味不明！
- 3校舎分離？5つの「ユニット」？前例のないシステムは教育的根拠なし
- 5年生から校舎が変わり後輩がいない高学年のリーダーシップは育つの？
- 4年生までしかいない校舎の「通学班」はどうなる？
- 様々な疑問に教委は「これから検討」と言うばかり。不安はますます膨らむ！

### 既に限界の学校教育「ふれあい」より「ICT」が対策？

- 激増する「不登校児童生徒」令和元年の1,376人が令和6年は2,868人に！
- 激増する先生の「精神的疾患」令和元年の75人が令和6年は141人に！
- 先生が休職すると代替りの先生が来ない！教員配置の責任は誰に？
- 子どもたちの顔を見るよりスクールダッシュボードで心をチェック？
- 効率優先のタブレット学習で勉強の面白さは伝わるのか？
- 無計画な開発で続出する過大規模校、校庭に仮設校舎で児童の外遊びは交代制！

## 議会のチェック機能はどこへ？

### 市長提案は丸呑み「おすみつぎ」を与えるだけ？

- 現市議任期の約3年、市長提出議案は「不祥事決算」以外623議案全て可決！
- 議会の役割は、市長の提案に「おすみつぎを与えること」なのか？
- 「行政のチェック機能」が働かない議会、何のための存在？

### 議員は市民の代表ではないの？

- 市民の思いより、会派の意向や支援団体への忖度が優先！？
- 地方議会は、国政政党の「党勢拡大」の場ではない！

だからもっと市民のために使ってほしい！